

風とおしの良い夢のあるまちづくり

ながら俊一 通心

平群町議会議員 vol.15
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955



ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
令和4年第6回平群町臨時会が、10月21日、第7回平群町定例会が、12月6日から12月16日まで、開催されました。
今年度は、コロナ禍の状況での町行政となり、臨時会・定例会を合わせると計7回の議会運営となりました。何かと慌ただしい時期ですが、本年の締めくくりにあたり、明るい話題があればよいのですが、withコロナを考慮しながら、少しずつ改善され、以前のような生活に戻れるように行政も努力しています。
今後も、環境の変化に対応し、『町民の皆さまに、安心・安全なまちづくり』を心掛け、発信に努めて参ります。
また、12月議会において、町民の皆さまからのお声を元に、学校教育、社会福祉、観光産業、平群町財政について質問させていただきました。
平群町議会のご報告をさせていただきます。

令和4年 第6回 10月 平群町議会臨時会

第6回（10月臨時会）	
報告案件 (2件 報告第4号～5号)	議会の委任による専決処分の報告についてなど
議案案件 (2件 議案第43号～44号)	令和4年度平群町一般会補正予算(第5号)についてなど

(※明細は議会だよりを参照してください)

【報告案件について】

道路陥没により、原付バイクが転倒し、車体に損傷を与えたことによる事案とゴミ収集作業中に駐車中の車両に接触した損害賠償についてです。

【議案案件について】

議案第43号 令和4年度平群町一般会計補正予算(第5号)について
この補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対しコロナ対策を一層強化するため、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」として、実施されるものです。
内訳は、介護・障害者・保育事業者、そして、低所得者世帯への生活支援金などです。
また、小・中学校とこども園の給食費の無償化です。子育て世代は、助かります。

議案第44号 平群町学校給食費特別会計補正予算(第2号)について
この補正予算は、議案第43号の議案が、可決されたことにより、特別会計に予算措置された議案です。子育て世代には、助かります。

令和4年 第7回 12月 平群町議会定例会

第7回（12月定例会）	
議案案件 (2件 議案第45号～60号)	環境保全器具使用料条例を廃止する条例についてなど
同意案件 (3件 同意第3号～5号)	公平委員会委員の選任に同意を求めることについてなど
陳情・要望について (5件)	
意見書・発議について (4件)	

(※明細は議会だよりを参照してください)

【議案案件について】

議案第45号 環境保全器具使用料条例を廃止する条例について
例規の整備を再考する必要性が生じたため行政側から取り下げられました。

議案第46号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する等の条例について
職員の定年引上げに伴う条例改正です。これは、令和13年度まで段階的に引上げ、65歳定年制に移行されます。ただ、60歳に、到達後、役職定年や給与も7割水準に移行され、定年前再任用短時間勤務制度の導入などを用いて、65歳まで働くことができますが、60歳を一区切りと考えているようです。

議案第47号 特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
この条例は、各委員会等に出席して頂く特別職の月額報酬を15%、日額報酬の30%を減額する条例案です。令和8年3月31日までです。町財政が厳しいからだそうです。

議案第48号～52号 一般職の職員、常勤特別職の職員、教育長、議会議員、会計年度任用職員等の給与ならびに報酬の改正について
この条例案は、人事院勧告による条例改正です。

議案第53号 令和4年度平群町一般会計補正予算(第6号)について
補正内容については、各担当課より多岐にわたり総額86,848千円です。結果、令和4年度の総額は、7,775,732千円となりました。内訳については、各施設における電気料金の高騰に伴う光熱水費や新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金で、食材費高騰に伴う給食賄材料費含まれています。また、年度内に執行すべき事案の為の予算を充当し歳出超過分については、財政調整基金繰入金でまかなうこととなります。なかなか、貯金できません。

議案第54号 令和4年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
地方交付税措置額の確定に伴い予算措置を講じるものです。今年度は、13,780千円を増額し、歳入歳出予算総額は、2,498,780千円となりました。

議案第55号 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
人事院勧告による人件費の減額及び電気料金の高騰に伴う光熱水費の増額です。今年度は、17千円を減額し、歳入歳出予算総額は、33,950千円となります。

議案第56号 令和4年度平群町学校給食費特別会計補正予算(第3号)について
物価高騰に伴う給食費賄材料費の増額です。これは、新型コロナ対応分です。

議案第57号 令和4年度平群町水道事業会計補正予算(第1号)について
新型コロナウイルス感染症対策に対する支援策などです。

議案第58号 令和4年度平群町下水道事業会計補正予算(第1号)について
電気料金の高騰や人件費の増減による増額、減額です。

議案第59号 ふれあい交流センターの指定管理者の指定について
指定管理者となる団体の名称などを指定するための議案です。社会福祉法人平群町社会福祉協議会に令和9年3月31日まで、施設のお世話をして頂きます。

議案第60号 平群野菊の里斎場の指定管理者の指定について
指定管理者となる団体の名称などを指定するための議案です。公益財団法人平群町地域振興センターに令和9年3月31日まで、施設のお世話をして頂きます。

【同意案件について】

同意第3号 公平委員会委員の選任に同意を求めることについて

同意第4号 教育委員会委員の選任に同意を求めることについて

同意第5号 監査委員の選任に同意を求めることについて

各同意案は、審議され、同意されました。

12月議会、私が一般質問しました、内容を、ご報告いたします。

一般質問

【主旨説明】

令和4年も師走になりました。今年度は、定例・臨時会を合わせると7回目になります。町の行政活動は、町民の皆様の生活を守り、満足ある日々を過ごすことが基調であると私自身、感じています。環境の変化に敏感に対応し、他の市町村の動向を注視し、地の利を生かすことこそが本町のなすべき姿と思っております。

西脇町長は再選され、令和5年度も町運営のかじ取りを担うこととなり、年が明けると令和5年度の準備が本格的に始まることと思っております。これまでの実績を活かし、スムーズな対応をお願いいたします。

1. 魅力ある豊かな地域の未来を考える

質問要旨

子ども達の生活環境を守り、先生方の働き方改革を模索し、満足して頂けるように教育委員会は、努力されていると考えます。

多様化の流れに対応し、個人を活かし、全体を動かすことの難しさを感じざるを得ません。本町は、小・中学校の学校施設の老朽化問題を抱え、今後の対応が注視されています。また、平群町にお住まいの子ども達(小学生・中学生)の人数も減少傾向にあり、放課後活動については、他校と合同で活動されていると聞いています。

平群町教育大綱の文面にある新たな教育施策を交え、学校、家庭、地域、行政の一層の連携のもと、新たな時代に向けた「まちづくり」へと繋がっていくことを期待し、推し進めてまいりますとありますが、平群町で教育を受けた子ども達がここで育んだことを自慢できるように大人たちが取り組みれば、この地で生活を送る選択をして頂けるとの思いから質問させていただきます。

1. 学校施設の老朽化問題について
2. 統合型校務支援システム導入で進む教育DXについて
3. 公立中学校の休日部活動について

答 弁

(教育委員会総務課)

長良議員の1項目、「魅力ある豊かな地域の未来を考える」のご質問について、お答えします。

1点目の、「学校施設の老朽化問題について」のお尋ねですが、議員ご指摘のとおり、学校施設の老朽化は大きな課題であり、この課題解決に向け、学校施設の長寿化計画を策定し、その計画に基づき、国庫補助金等の財源を確保し、計画的な改善を進めてまいります。

特に中学校施設は、優先度の高い状況であることから、一刻も早く改善事業に着手できるように、12月議会の補正予算で、施設改修の基本計画の策定経費を措置し、議決を頂きましたので、現在、速やかに着手し、業務を進めています。

2点目の、「統合型校務支援システム導入で進む教育DXについて」のお尋ねですが、近年「教育のDX」が盛んに取り上げられており、大きな関心事となっています。この「教育のDX」とは、「教育のデジタルトランスフォーメーション」で、簡単にいえば、教育分野における多様多様、多岐に渡る様々な制度、施策、仕組み、取り組みなどを「電子化」し、情報化の進展といった時代の変化に対応して、より効率的で効果的なものに改革(変革)していくものです。

代表的な取り組みの事例では、議員がご指摘の「統合型校務支援システム」の導入を始め、国のキカスクール構想(児童生徒一人1台情報端末の整備の運用)や、スタディオグなどの教育・学習情報のデジタル化、活用です。

本町では、まず、校務支援システムでは、県の実証研究段階から参画し、県下でもいち早く導入し、現在も継続した活用、運用を行い、業務の効率化、迅速化を図り、教員の働き方改革に繋げています。国のキカスクール構想や、スタディオグの活用では、先般、教職員全員を対象としたICT教育の研修会を実施、情報端末の効果的な活用や、eライブ러리などの学習ソフトの活用促進、小中学校で創意工夫ある取り組みを進めています。

3点目の、「公立中学校の休日部活動について」のお尋ねですが、本年度、国の方針が示されて以降、県の説明会が複数回開催され、様々な課題や懸案事項等が出されており、引き続き協議が行われています。

現在、国ではガイドラインの策定に向けパブリックコメントが実施されており、文部科学省は、令和5年度の国の当初予算において、学校部活動の地域移行等に係る経費に対する補助金の大幅な増額を予算提案しています。

本町では、県との協議や、中学校との意見交換、先進地の施策、情報収集を行い、来年度以降、段階的な休日の部活動の地域移行に向けた準備を進めており、受け皿となる組織の立ち上げ、必要となる経費の予算要求や、国県補助金の要望を行っているところで、現在進行形の状態であり、具体の決定には至っていませんが、関係機関と連携、協力し、取り組みを進めているところであります。

2. 生き生きと暮らせる町、平群

質問要旨

平群町は、他の市町村と比較しても高齢化率が高く、高齢者の一人暮らしが問題になりつつあると感じます。民生児童委員さんの見守りや懇親的なご協力のおかげで地域に温かさをもたらしていることは、ありがたい限りです。この取り組みがなければ、地域を守ることができないと考えますが、平群町で生活するにあたり、生活環境や福祉支援の充実、欠かせないと考えます。本町において、ご本人さんが不自由な問題をかかえ、相談を受けた場合、スムーズに問題を解決することが、安心してくらしていける礎と思えます。現状の流れ、取り組みを聞かせてください。

答 弁 (住民福祉部)

大きく2点目の「高齢者への不自由な問題をかかえ、相談を受けた場合における現状の流れ、取り組みについて」お答えします。

高齢者やその家族の方、また、民生児童委員などから相談があった場合、相談内容に応じて、関係部署や関係機関と情報を共有し、問題の把握し、問題解決に向けて対応しております。

取り組みとして、一人暮らしなどで高齢者の見守りの相談があった場合、地域の民生児童委員や地域支え合い推進員による「安心見守り事業」や「緊急通報サービス事業」などの安否確認などの事業の案内を行っています。

また、高齢者から外出支援の相談があった場合は、「デマンド型乗合タクシー」など様々な高齢福祉サービスの案内や支援を行っています。

今後も引き続き、相談内容に応じて、支援やサービスを行うことにより高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して『いきいきと暮らしていただけるよう』努めていきたいと考えております。

3. 魅力ある平群町について

質問要旨

基幹産業である農業は、平群町にとって欠かすことのできない重要ピースと感じています。国道168号バイパスにある道の駅は、地元特産品、コラボ企画商品の販売などで周年を通じてたくさんの方が訪れて頂いています。また、歴史、文化、観光振興などの拠点として役割を果たしていただいていると感じています。

今後、観光産業という観点から様々なピースをつなげ、発信していく事が魅力ある平群町の進むべき姿と考えます。例として挙げるなら、産学官連携、ラジオ媒体を活用した観光ピーアールなどです。今後の取り組みを聞かせてください。

答 弁 (事業部)

本町の魅力のある観光資源は、緑豊かな「自然環境」と、史跡・遺跡が多く存在している「歴史」と、市場の評価が高い「農産物」が主なものです。

これらの観光資源をPRすることは、町の知名度の向上やイメージ形成のみならず、基幹産業である農業を活性化することにより、農産物の価値を高め、地域産業全体の活性化が図れるものと考えております。

そのため、広報誌・観光ホームページやSNS（Facebook、Instagram、Twitter、LINE）の活用、イベントなどへ参加することでの情報発信と、近隣市町村や観光協会・産学官などと連携することで、話題性も向上し効率的な情報発信をとりまします。

また、本町には、幅広い交流活動や町の活性化を促進する施設として、道の駅「大和路へぐり」くまがしステーションがあります。その本来の役割である産地間形成による地域農業の振興や加工品販売による農業資源の有効活用、または周辺地域の様々な情報発信と道路利用者の休憩など、町の活性化の拠点となっています。加えて、その機能が十分に発揮できるよう、平群町地域振興センターと連携を強化し、ブランド力の高い平群の既存の地域資源を活用して、官民連携・協働により、特色ある取り組みを行っており、あらゆる世代の利用者の交流と賑わいの場となっています。引き続き、まちの活性化及び知名度向上に繋がる取組を効率的・効果的に、町外の方には訪れてみたい、町内の方には愛着と誇りを持っていただけるようなPRを行ってまいります。

4. これからのまちづくりについて

質問要旨

本町は、県の支援を受け、財政の基盤を少し改善することができましたが、今後も計画策定を遵守しながらの運営とならざるを得ません。現状を把握し、優先順位をつけて、人口減少の抑制、新たな入居者を促し、平群町を元気にしなければなりません。

令和5年度の予算策定にあたり、必要とする予算を削り、平準化することは、町発展の妨げになると思えて仕方ありません。何故なら、公選を終え、町民の皆様の特筆すべきものを見ることが出来るタイミングであるからです。町経営は、町民の皆様のご理解、国・県とのつながりがなければ、なかなか進まないからです。指針をご説明ください。

答 弁 (総務部)

長良議員の4項目の、「これからのまちづくりについて」の、ご質問にお答え致します。現在、まちづくりの基本的な方針を定める町政運営の最上位計画となります、第6次総合計画の策定に向け取り組んでおります。

第6次総合計画の将来像として、「人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまちづくり」を掲げ、住みたい・住み続けたいまちになるための施策を重点施策として進め、「人を惹きつけ」、「人を誘導し」、「人を増やす」施策に全力で取り組んでいきたいと考えています。

先日、奈良県の報道発表でもありましたが、財政状況を示す財政指標では、実質公債比率、将来負担比率、基金残高比率が奈良県ワースト1位となり、引き続き「重症警報」を発令されたところです。

緊急財政健全化計画の早期集中プランの3年目を迎えており、引き続き計画内容を遵守しての財政運営となってまいります。

そのようななか、輝く「へぐり」の未来を創るために、そして、みんなの笑顔があふれる町にするために、まずは、財政健全化に取り組んでまいります。

現在、令和5年度の予算編成中ではありますが、当初予算から赤字予算となる「未確定財源」の計上はせずに、起債発行額の抑制も行えるよう事業の選択と集中を行い、職員一丸となり未来の平群町へ繋がる予算を編成してまいります。

また、国や県とのつながりについても、12月7日に奈良県との財政の合同勉強会を行い、財政、人事、税務関係の職員が一堂に会し情報交換を行ったところであります。引き続き奈良県とも連携を図って取り組んでまいります。

終わりに

令和4年12月定例会を終え、新しい年度を迎える準備が始まります。1期4年の議員活動も終盤をむかえ、令和5年度3月定例会を終えると任期満了となります。私自身の体内時計は、人生の中で本当に早く駆け巡った時間でした。最初の頃は、議場内で落ち着いて諸先輩方の発言が聞けなく、経緯、関連はどの様に導かれているのかなど本当に勉強して、議場で理解するには、時が必要でした。平群町議会の流れを理解でき、私自身、本町に合う施策をどの様に一般質問を通じて提案できるかと、自問自答でき始めた頃、コロナウイルス感染症が猛威を振るい始め、定例会と臨時会の繰り返しが続くことになりました。

本当に、時が流れるのが早い議員活動ですが、各委員会での役目を頂き、3年目で副議長の大役を仰せつかり、4年目で9月議会において、決算審査特別委員会委員長を務めさせていただきました。この経験を活かし、『初心忘るべからず町民の皆様の声をとどける』を心掛けて活動してまいります。

新しい年を迎えても、終息の見えないコロナ禍の中での生活が続くと考えますが、議員活動を通じて、皆さまに喜んで頂けるように邁進してまいります。

これからも、よろしく願いたします。



皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3

TEL・FAX 0745-45-3955

<https://nagara-shunichi.com/>

